

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日
東

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東
 コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)志藤 健
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 (TEL)045 (543) 6802
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	117,265	△5.1	1,004	△71.2	416	△88.6	△396	—
2019年3月期第3四半期	123,619	△2.6	3,484	△4.2	3,646	△17.7	2,080	△25.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,786百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 746百万円 (△87.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△16.69	—
2019年3月期第3四半期	87.53	86.00

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	159,222	89,096	46.2
2019年3月期	168,097	92,310	45.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 73,534百万円 2019年3月期 75,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年3月期	—	12.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△5.4	2,500	△52.7	1,950	△62.7	800	98.6	33.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	25,055,636株	2019年3月期	25,055,636株
2020年3月期3Q	1,279,060株	2019年3月期	1,285,878株
2020年3月期3Q	23,772,016株	2019年3月期3Q	23,769,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国では雇用環境は底堅さを維持しており、秋の米大統領選を控え、米中貿易摩擦については部分合意がなされるなど、短期的には沈静化が図られている一方、中東和平問題による地政学リスクは増しております。中国では依然として減速傾向が続いており、その他新興国では中国の不振の影響を受け市場の減速感が強まっております。

一方、日本経済は、堅調な雇用環境を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の影響で外需が減少し、内需でも消費税増税に対する心理的影響やインバウンド需要の落ち込み懸念など不透明感があることから、今後の経済動向にさらに留意する必要があります。

当社グループが関連する自動車産業におきましては、米国では、ピックアップトラック、SUVなど「ライトトラック」は好調な反面、セダンや小型車の販売は低迷が続いております。中国においては、米中貿易摩擦の影響などにより生産販売台数ともに前年割れが続いております。東南アジア等そのほかの地域においてはインドなど一部新興国での生産販売が低迷しております。なお国内は、全体としては生産はほぼ横ばいとなったものの2019年10月からの消費増税の影響を受け、販売は失速傾向に転じました。またカーメーカーによって生産販売台数にばらつきのある状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同期比5.1%減の117,265百万円となりました。利益面では、米国では生産が減少する中、テネシー拠点での大幅な収益改善はあったものの、日本、中国、タイでの生産の減少などにより、営業利益は前年同期比71.2%減の1,004百万円となりました。経常利益は、前年同期での為替差益計上から、当第3四半期連結累計期間では為替差損計上となったことなどにより、前年同期比88.6%減の416百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損の計上もあり、前年同期に比べ2,477百万円減の396百万円の損失となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、109.12円/ドル（前第3四半期連結累計期間109.60円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

① 日本

主要得意先の生産台数の減少や海外からのロイヤルティ収入の減少に加え、金型・設備売上の減少などにより、売上高は前年同期比12.2%減の38,111百万円となりました。営業利益は売上減少による影響に加え、償却費などの増加により前年同期比66.9%減の1,053百万円となりました。

② 米州

米州における売上高は、米国でのセダンや小型車の販売低迷による主要得意先の減産影響はあったものの、メキシコでは新規受注に伴い生産が増加したことなどにより、前年同期比ほぼ横ばいの50,780百万円となりました。

損益面では、米国テネシー拠点での大幅な収益改善やアラバマ拠点の立上げ費用が一巡したことなどにより、前年同期に比べ373百万円改善したものの黒字化には至らず1,300百万円の営業損失となりました。

③ アジア

中国、タイでの主要得意先の大幅な生産販売台数減少などにより、売上高は前年同期比13.5%減の37,993百万円、営業利益は前年同期比53.8%減の1,072百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ4,479百万円減少の62,943百万円となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が2,121百万円、「製品」が1,132百万円増加したものの、「現金及び預金」が8,099百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ4,396百万円減少の96,278百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が4,495百万円減少したことなどによりです。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ8,875百万円減少の159,222百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,283百万円減少の38,990百万円となりました。これは、「1年内返済予定の長期借入金」が2,059百万円増加したものの、「短期借入金」が2,586百万円、「電子記録債務」が886百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ4,378百万円減少の31,134百万円となりました。これは、「長期借入金」が3,571百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ5,662百万円減少の70,125百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3,213百万円減少の89,096百万円となりました。これは、「株主資本合計」のうち「利益剰余金」が1,228百万円、「その他の包括利益累計額合計」のうち「為替換算調整勘定」が779百万円、「非支配株主持分」が1,183百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、2019年8月7日の第1四半期決算発表時における公表値に対し、売上高は当第3四半期までの実績及び最近の事業環境を踏まえ、30億円の減収予想(1,630億円→1,600億円)といたしました。利益面については、当社を取り巻く環境は依然厳しい状況ではありますが、全社をあげてあらゆる分野において聖域を定めない緊急収益改善活動を継続中であり、これらの改善効果を踏まえて予想を据え置きました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,970	16,870
受取手形及び売掛金	19,842	21,963
電子記録債権	2,122	2,450
製品	5,340	6,472
原材料及び貯蔵品	934	1,020
部分品	2,804	2,382
仕掛品	6,878	6,158
その他	4,659	5,832
貸倒引当金	△130	△207
流動資産合計	67,422	62,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,505	18,270
機械装置及び運搬具（純額）	53,426	48,930
その他（純額）	12,975	14,890
有形固定資産合計	85,907	82,092
無形固定資産	418	302
投資その他の資産	14,349	13,883
固定資産合計	100,675	96,278
資産合計	168,097	159,222

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,117	13,429
電子記録債務	3,401	2,514
短期借入金	10,694	8,107
1年内返済予定の長期借入金	1,218	3,278
未払法人税等	1,278	438
賞与引当金	1,347	1,320
役員賞与引当金	81	60
その他	8,133	9,839
流動負債合計	40,273	38,990
固定負債		
長期借入金	31,333	27,761
退職給付に係る負債	1,276	1,080
その他	2,903	2,293
固定負債合計	35,513	31,134
負債合計	75,787	70,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,329	10,328
利益剰余金	67,195	65,966
自己株式	△1,836	△1,826
株主資本合計	81,888	80,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	2,753
為替換算調整勘定	△8,879	△9,659
退職給付に係る調整累計額	△378	△228
その他の包括利益累計額合計	△6,235	△7,134
新株予約権	649	737
非支配株主持分	16,008	14,825
純資産合計	92,310	89,096
負債純資産合計	168,097	159,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	123,619	117,265
売上原価	109,416	105,345
売上総利益	14,202	11,919
販売費及び一般管理費	10,718	10,915
営業利益	3,484	1,004
営業外収益		
受取利息	199	179
受取配当金	257	223
為替差益	93	—
その他	142	77
営業外収益合計	692	480
営業外費用		
支払利息	525	566
為替差損	—	476
その他	4	24
営業外費用合計	530	1,067
経常利益	3,646	416
特別利益		
固定資産売却益	39	11
受取和解金	212	—
その他	39	0
特別利益合計	291	11
特別損失		
固定資産廃棄損	130	17
減損損失	310	0
投資有価証券評価損	—	222
その他	—	0
特別損失合計	441	241
税金等調整前四半期純利益	3,496	186
法人税等	1,013	435
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,482	△248
非支配株主に帰属する四半期純利益	402	148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,080	△396

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,482	△248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,102	△268
為替換算調整勘定	△681	△1,445
退職給付に係る調整額	48	176
その他の包括利益合計	△1,735	△1,537
四半期包括利益	746	△1,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808	△1,295
非支配株主に係る四半期包括利益	△61	△490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	30,070	50,430	43,117	123,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,357	261	815	14,433
計	43,427	50,692	43,933	138,052
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	3,179	△1,674	2,324	3,829

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,829
セグメント間取引調整額	△345
四半期連結損益計算書の営業利益	3,484

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	28,951	50,484	37,829	117,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,159	296	163	9,619
計	38,111	50,780	37,993	126,885
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,053	△1,300	1,072	825

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	825
セグメント間取引調整額	178
四半期連結損益計算書の営業利益	1,004